

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	政治学概論A (Survey of Political Science A)		
ナンバリングコード	E31502	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 教職科目 / 応用レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 前期
必修・選択区分	選択・教職 教職関係科目(必修):高等学校教諭一種免許状(公民) 教職関係科目(選択):中学校教諭一種免許状(社会) ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	EK00701	クラス名	-
担当教員名	斉藤 雄次		
履修上の注意、 履修条件	自分にとっての利益だけでなく、他者や社会にとっての利益を考慮に入れて行動することと「政治」との間には深い関係がある。授業中の飲食や私語をはじめとする迷惑行為は、自己利益の実現にかかるという点でも視野の狭いものであり、謹むこと。 また、政治は日々刻々と変化する「なまもの」でもあり、それを知るのに新聞やニュースは役に立つ。これらにも目を通して時事的な話題に常に注目し、政治に対する理解を深めていただきたい。		
教科書	特になし。そのつど資料を配布する。		
参考文献及び指定図書	永井史男ほか『政治学入門』(ミネルヴァ書房、2019年) 田村哲樹ほか『ここから始める政治理論』(有斐閣、2017年) など		
関連科目	なし		

○基本情報		
授業の目的	政治とは国家、政府や議会、行政といったものだけを指すのではなく、家族をはじめとする日常生活の中にも見られるものである。本授業では、こうした多様な政治の姿や考え方に迫る中で、政治、あるいは政治学をより身近なものとして感じてもらったり、政治に対する広い見方を獲得してもらおう。 また、本科目は教職関係科目ということで、中学校社会科や高等学校公民科の教科指導を行うにあたって必要な知識や考え方の修得とも関わりがある。本授業の目的は、政治や政治学に関する教養を高めるだけでなく、社会科の教員、公民科の教員として求められる教科指導力の基礎を培うことにもある。	
授業の概要	国家、政府や議会、行政に代表される具体的な政治の仕組みを理解するとともに、民主主義やジェンダー、市民社会といった政治学の議論にも関わる概念についても理解を深め、あるべき政治の姿、ひいてはあるべき社会の姿について考えてもらう。 また、そうした学修に役立つように、適宜、自らの周りにある「政治的」事象を選んで、その背景にある考え方や問題点、解決策などについて報告してもらおう活動やグループワークも取り入れる。 さらに、中学校社会科や高等学校公民科の教科書等も用いながら、政治学の学問的議論と教科書記述との関係についても理解を深めてもらう。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	政治や政治学の議論に関心を示し、社会科・公民科教員になることを含むこれからの自身の生活に、学修内容を活用していこうとする意欲や態度を有している。	20点		10点
【知識・理解】	政治の仕組みに関する理解や政治学の議論に関する知識の修得に努め、自分なりに政治やそれにまつわる争点を理解することができる。	20点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	興味のあるテーマに関するプレゼンテーションやグループワークを通じて、自らの意見を表現したり、他者から様々な意見を引き出したりすることができる。		10点	10点
【思考・判断・創造】	あるべき政治の姿を考えることを通じて、あるべき社会の姿についても考え、自らの立場に基づいた見解を述べるができる。	20点		

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
プレゼンテーションに向けて作成した資料も評価の対象に加えるとともに、必要に応じてコメントを加える。 なおプレゼンテーション資料の作成にあたっては、引用元(出典)の明示に留意すること。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他
プレゼンテーションやグループワークを通じて、自分の考えを他者に伝わるように話す力、他者の意見を聞いて自らの考えを省みることのできる力、必要な情報を取捨選択する力などを高めていただきたい。それらの能力は、中学校社会科や高等学校公民科の教員になるにあたって、あるいは社会のなかで生活していく上でも役立つはずである。一般教養としての政治に関する知識や考え方を提供するとともに、教職に就く上でも必要となる政治に対する知識や考え方も提供し、多面的・多角的な政治に対するイメージを構築することも、本授業は目指している。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	政治学概論A（Survey of Political Science A） 齊藤 雄次	授業コード	EK00701
学修内容				
1. 政治(学)を学ぶとは				
受講生のイメージする政治と学問的議論における政治の共通点と相違点について確認するとともに、政治学とはどのような学問であるのか、こういった問題意識、基本争点、アプローチの仕方があるのかなどについて確認する。				
予習	関心のある政治学に関する文献を探して、目を通す。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
2. メディアと政治				
政治に関する情報を目にする手段となっているテレビや新聞などのマスメディア、SNSなどのソーシャルメディアを切り口として、政治について考察する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
3. 選挙と投票				
投票を通じて代表者を選び、選ばれた代表者が政治を行うという意味で政治の根幹を支えている選挙、投票を切り口として、政治について考察する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
4. 政治家と有権者、政党				
選挙で選ばれた政治家は、有権者の声に応えるための活動だけでなく、政党の一員としての活動も行っている。そのため、政治家と政党、政治家と有権者の関係を切り口として、政治に対する理解を深める。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
5. 議会				
議会もまた、政治に関わるアクターの一つである。そのため、国会（衆議院、参議院）の機能を切り口として、政治に対する理解を深める。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
6. 政策				
政策の立案には政治家に加えて官僚も関わっている。そこで、政策を切り口として政治家と官僚の関係について理解し、政治について考察する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
7. デモクラシー				
「政治に関わるべきは政治家だけなのか」という問いに対する様々な答えを提供する、民主主義をめぐる議論（エリート民主主義論、多元的民主主義論、参加民主主義論、熟議民主主義論など）を切り口として、政治について考察する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
8. 市民社会				
国家、政府や議会、行政への積極的関与という点で、政治に関わるものとみなすことができる「市民社会」を切り口として、政治について考察する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	政治学概論A（Survey of Political Science A） 齊藤 雄次	授業コード	EK00701
学修内容				
9. 地方自治				
身近な政治や民主主義の場である地方自治に焦点を当て、近年日本などで見られる様々な市民参加の実践も切り口として、政治について考察する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
10. 福祉国家				
労働者の参政権に続いて社会権が整備され、国家が手厚い保障を行う福祉国家が成立した。この福祉国家を切り口として、政治やあるべき社会について考察する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
11. ジェンダー				
「政治の場から、女性は排除されてきたのだろうか」という問いに対する一つの答えを提供するフェミニズムの議論に焦点を当て、ジェンダーと政治の関係について理解を深めるとともに、政治やあるべき社会について考察する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
12. 政治体制とガバナンス				
国家が異なれば政治の仕組みも異なるが、様々な国家の政治体制を知ることは政治に対する理解を深める上でも有益となる。そこで、政治体制とガバナンスという切り口から、政治について考察する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
13. グローバル化と政治・経済				
グローバル化の進展は、日本を含む世界の政治や経済に影響を与えている。そこで、グローバル化を切り口として、政治、また政治と経済の関係について考察する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
14. 安全保障				
平和な社会を実現するための政治という観点で考える上ならば、自国および他国の安全をどのようにして守るかという安全保障の問題を考えることは重要である。そこで、安全保障を切り口として、政治について考察する。				
予習	関係する事項の基本概念、争点などを調べる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義中に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
15. 総括				
これまでの学修内容を踏まえて、政治はどうあるべきかについて、国家レベル・地方レベル・日常生活レベルなど様々な視点から考察する。				
予習	授業の全体を通して、もう一度説明してほしいところ、疑問点などを整理して、質問するように用意する。			約2時間
復習	これまでの配布資料を振り返るとともに、あるべき政治や社会の姿についての自身の見解を整理する。			約2時間
16. 期末試験				
15回分の学修内容について試験を行う。実施の詳細については講義中に指示する。				
予習	これまでの配布資料をもとに、あるべき政治や社会の姿について説明できるようにする。			
復習				